

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

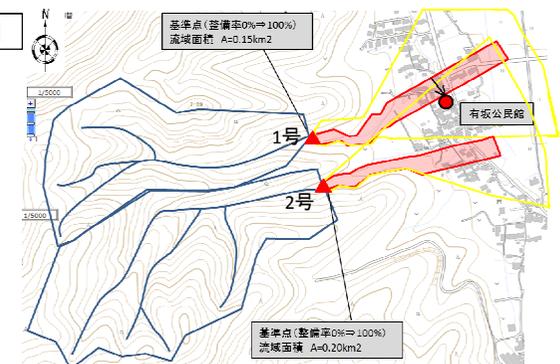
事業名		砂防(通常砂防)		路河川名等		(砂)有坂沢		
事業毎の番号		1	市町村名	長和町	箇所名(ふりがな)	古町(ふるまち)		
事業概要	事業目的	有坂沢は長和町の北部に位置し、緑色凝灰岩が堆積する土石流危険渓流Ⅰである。河床勾配が急峻で、次回降雨で直下に存在する人家50戸、有坂公民館(避難所)に被害のおそれがある。このことから、当該渓流に砂防堰堤を整備することにより、土石流災害から人命財産を守り、民生の安定を図る。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等	砂防法			
	関連する事業、計画等	-						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家50戸、有坂公民館(地域防災計画における避難所)						
	着手年度	平成29年度	事業期間	9年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成37年度	費用対効果	15.1	事業費(千円)	国庫	その他	県債
	全体事業内容(主な工種)	砂防堰堤工 2基			400,000	200,000		180,000
年度事業内容(主な工種)	測量・調査・設計			15,000	7,500		6,750	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家50戸、有坂公民館を保全						
	間接的効果(定量的・定性的)							
評価の視点	必要性	【保全人家戸数】 50戸 【保全公共施設】 有坂公民館、町道有坂武石線 【要配慮者利用施設】 なし 【避難場所・避難路】 避難所(有坂公民館)					評価	
	重要性	【災害履歴】 なし 【交通影響】 町道有坂武石線 【位置付け】 地域防災計画に位置付けあり(土石流危険渓流Ⅰ)、避難所(有坂公民館)					評価	
	効率性	【費用対効果】 15.1 【早期効果発現】 事業期間:9年 【工法等比較検討】 堰堤形式比較検討 【総合調整】 上小地方事務所林務課の治山事業と計画調整 砂防対応(保安林有)					評価	
	緊急性	【地形地質】 地質が脆弱(火山噴出物) 【流域植生】 放置林 【平均渓床勾配・土砂整備率】 勾配:約10°・整備率:0% 【危険地区】 土石流災害特別警戒区域指定(D03-350-081,D03-350-082)					評価	
	計画熟度	【情報共有】 説明会にて関係者に周知(H28.12.16)					評価	
		【地域要望】 長和町から要望有り(H28.9.26) 【合意形成】 説明会にて、事業目的及び整備手法について地域の合意形成が図られている(H28.12.16) 【住民参加】 地区防災マップ作成(H28.2)、防災訓練実施(H27.6.7)						
部意見	当該渓流の保全対象には地域防災計画に位置付けられている避難所が立地しているため、速やかな土砂災害対策が必要である。	行政改革課意見	流域内には不安定土砂や倒木が多数存在し、今後の降雨等により土砂流出の恐れがあり、保全対象に人家、県道、市道、避難所があることから、必要性、緊急性が認められる。	評価結果	総合評価	○	A	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

位置図



平面図



渓流状況(1号)



渓流状況(1号)



渓流状況(2号)

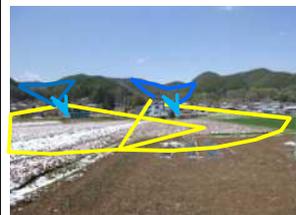


渓流状況(2号)



【整備の必要性がわかる状況写真等】

流域・保全対象



①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	有坂沢は、土石流危険渓流Ⅰであり、上流域には不安定な土砂が堆積しており、豪雨などには土石流の発生が懸念されている。保全対象には人家50戸の他、避難所に指定されている有坂公民館がある。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	長和町から強い要望をうけており、地区防災マップ作成、防災訓練を実施するなど地域の関わりは深い。	
③事業説明等の経緯	説明会にて、事業目的及び整備手法について地域の合意形成が図られている。	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	-	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	今後周辺環境への影響を抑えることも観点に、堰堤型式等の検討を行う予定。	
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により、渓流の安全性が高まり民生の安定が図られ、地域防災力の向上が期待される。	
⑦その他	-	
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 16' 44" 東経:E 138° 15' 3"

事業概要説明図表

事業周辺環境